

発刊にあたって



昭和十八年に松戸市が市制を施行して以来、来年四月には五十周年の記念すべき年を迎えます。

人口僅か四万余人。すべてが戦争遂行に動員され、まちづくりなど思いもよらなかった市制施行当時から五十年間を振り返りますと、私たちの松戸市もさまざまな変化がありました。

十五年以降の高度経済成長の影響により、市の人口は急激に膨張を始めました。戦争による疲弊の時代を経て日本の経済も復興し、やがて昭和三十

昭和四十年代に入ると都市化の波はさらに続き、その結果、急激な人口の増加に伴う歪みが目立ち始めました。

昭和四十九年から、私は、市民の皆さんのご理解のもとに年次計画によって差し迫った問題の解消、都市基盤の整備に努めてまいり、幸いこれまでに大きな実績をあげることができました。

市制施行五十周年を迎える来年は、二十一世紀を展望した長期構想の実現をめざして市民の皆さんとともに策定した第四次総合五か年計画の仕上げの年にあたります。おかげさまで、二十一世紀の森と広場をはじめ各種文化施設の建設事業やきめ細やかな福祉施策など、より豊かな市民生活の実現をめざす諸施策は順調に進捗しております。

このたび、既に刊行された広報まつど縮刷版の第四集として、昭和五十八年から六十二年までの縮刷版を刊行することになりました。この縮刷版が「温故知新」の書として本市が歩んできた歴史を知り、今後の松戸市の指針となれば幸いです。

私どもは、市勢発展のため更なる努力をお約束するとともに、皆様方の一層のご協力をお願い申し上げます。ご挨拶いたします。

平成四年十一月一日

松戸市長
宮間満寿雄